

本来あるべき

高等教育の目的 早わかりの図

高校

決められた課程を
修める

専門学校

特定の「知、技能」
を身に着ける

大学(学部)

既存の「知」を学ぶ
だけど、終わりなし境界なし
わかっていないことがある
ことを知る

修士、博士は
資格ではない！
能力・経験

大学院博士課程

わかっていないことを見つけ出し
それを解決する

- ①問題解決能力をもつ人材は社会で最も求められるはずの人材
- ②専門性に埋没させているのは研究者の問題
- ③博士は「もの知り」ではない。博士に対するイメージは社会に誤解されている！

大学院修士課程

わかっていないことを解決する
テーマは与えられる

問題設定・問題解決
能力を持った人材

問題認識のできる
人材

- ①だから研究と教育は不可分
- ②資格取得は大学教育の主目的ではない

問題解決経験を
持った人材

- ①わかっていないことは「難しい」ことではない！どの大学でもできる！
- ②大学院を単なる大学の補習の場にしてはいけない。力をつけるのはわからないことに挑むため。
- ③「質の保証」は画一的にはできない